

プレス発表資料



令和 5 年 7 月 14 日
秋 田 大 学

秋田大学医学部附属病院にて国産の手術支援ロボット「hinotori」を導入

秋田大学（学長：山本文雄）は、本年度より国産の手術支援ロボット「hinotori」を秋田大学医学部附属病院に導入しました。「hinotori」は株式会社メディカロイドが開発したもので、米国製の手術支援ロボット「ダビンチ」と同様3つのユニットから成り、遠隔操作で内視鏡外科手術を行います。特徴としては、ロボットアームの関節がダビンチよりも1つ多いため、動きがより滑らかであり、さらにアーム全体がスリムでアーム同士の干渉を回避する制御機能も搭載されています。

当附属病院では1例目を6月中旬に70歳代男性の前立腺癌に対する前立腺全摘除に使用し、患者様の容体も順調で、すでに退院されました。さらに7月初旬の2例目も同疾患の方に施行し、成功裏に終了しています。秋田大学大学院医学系研究科では「hinotori」に関する共同研究も進めており、今後も適応を拡大していく予定です。

<本件に関する記者会見の開催について>

日 時：令和5年7月26日（水）午後2時～
場 所：秋田大学医学部（本道キャンパス）管理棟2階会議室
説明者：秋田大学大学院医学系研究科長
（腎泌尿器科学講座教授） 羽 渕 友 則

※記者会見に参加をご希望の場合は、7月25日（火）までに秋田大学広報課までご連絡下さるようお願いいたします。

秋田大学広報課 電話：018-889-3019
メール：kouhou@jimu.akita-u.ac.jp

担当(機器に関する内容)

秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座
准教授 成田 伸太郎
電話：018-884-6156
Email：naritashintaro@gmail.com